橿原市は、奈良盆地の南東部に位置し、藤原京など数多くの旧跡が点在している歴史的文化都市です。本校は昭和51年に開校し、今年創立50周年を迎えました。

本校は、「豊かな感性と実践力をもち、自ら学びたくましく生きる児童の育成」を教育目標とし、歯と口腔の目標を「児童自ら歯と口腔の健康について興味・関心をもち、生涯にわたって、健康の保持増進できる資質・能力を育てる」に設定しました。

今年実施した４つの活動について、紹介したいと思います。

委員会活動

保健委員会では、１学期にケガ予防などのポスターを作成しました。現在は、ケガマップの作成に取り組んでいます。

給食委員会では、給食時間に「カミカミこんだての日」を紹介したり、壁新聞で噛むことについて紹介したりしました。

学校歯科医との連携

学校歯科医の先生から２年生を対象に「歯の大切さを学ぶ～むし歯にならないためにできること～」という演題でむし歯に関する指導とブラッシング指についてお話していただきました。

教員には、夏季職員研修で「口腔外傷における安全対策とその対応」についてご講演いただきました。

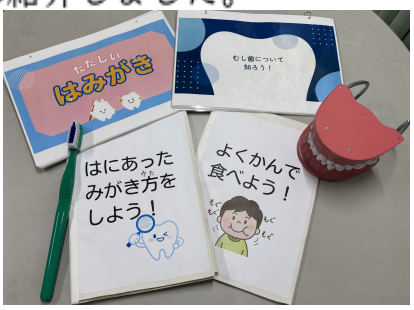
保健指導

保健指導は、６・１１月の体重測定時に実施しました。

６月は、１・２年生に大きな歯と歯ブラシを使って歯みがきの４つのポイントをお話しました。また３～６年生にむし歯の始まりや予防の方法についてお話しました。

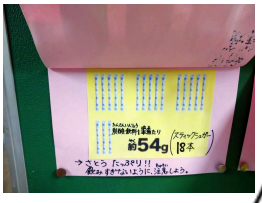
１１月は、１～３年生に３種類の歯の名前と役割や歯ブラシの使い分けについてお話しました。４～６年生はよく噛むことの効果などについてお話しました。

指導後は、ほけんだよりでそれぞれ紹介しました。



食に関する指導

食に関する指導は、６月に給食時の指導と７月に掲示板での指導を実施しました。

６月は、６年生を対象に歯と口の健康週間に関連付け、よく噛むときのだ液の働きについて紹介しました。

７月は、玄関前の食育掲示板でむし歯の原因となる飲料やアイスクリームの砂糖量について紹介しました。